

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	三浦市家庭教育支援チーム (呼称: はっぴー子育て応援団) URL: happymiura@yahoo.ne.jp
②活動拠点	三浦市上宮田小羊保育園内 子育て支援センター
③活動範囲	三浦市全域
④組織体制	19人 元三浦市立小学校校長1人、幼稚園園長1人、保育園園長1人、看護師1人、保育士3人・市議会議員1人、託児スタッフ8人、トリプルPファシリテーター3人
⑤活動開始年度	平成23年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 松岡 かおり (TEL)070-1554-8383 (E-mail)happymiura@yahoo.ne.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者等への学びの場の提供 ■保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<ul style="list-style-type: none"> ■乳幼児 ■小学生(低学年) ■小学生(中学年) ■小学生(高学年) ■中学生 ■高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前向き子育て講座の開催 子育て中の母親・父親等を対象とした子育て支援の講座を開催している。 具体的な活動内容は、主として育児に関する不安を抱える保護者に親子のコミュニケーションや子どもの問題行動への対処方法などの子育て技術を学ぶ親向けの子育て支援プログラムを実施している。 トリプルP(前向き子育てプログラム:Positive Parenting Program)という親向けの参加体験型の学習プログラムにより、子どもの発達を促しつつ、親子のコミュニケーション、子どもの問題行動への対処など、子どもとの関わり方を学び、知ることにより、安定した親子関係を築き、同時に、子どもの自尊心を育み、子育てを楽しくする学習プログラムを実施している。また、コロナ禍のため、ZOOMによりセミナー・グループワーク等を実施している。 ・トリプルPティーンセミナーの開催 中高生の保護者を対象として実施している。 ・ママ cafe の開催 毎月 1 回、日常からの解放により、育児の負担感、不安を和やらげることがを目的に開催している。保育士が子どもと遊んでいるのを見ながら、安心してお茶を飲みながら子育て相談、ひと時の育児からの解放、仲間づくりの場となっている。 参加者と語らうことで、子育て相談の場、仲間づくりの場でもあるため、参加者からの期待が大きい活動であり、前向き子育てプログラムのフォローアップの場となっている。 また、コロナ禍のため、ZOOMにより実施している。 ・収穫体験の開催 地元の農家に協力いただき季節ごとに家族で野菜の収穫体験を行っている。季節の野菜(夏ならば、とうもろこし・きゅうり・なす・かぼちゃ等、冬ならば、だいこん・きゃべつ等)を収穫することにより、土にふれ、太陽を感じ、自然の恵みを肌で感じることができ、子どもの成長にかかせない体験と好評を得ている。 ・素敵ママ教室(お料理教室)の開催 『身近な材料で簡単に』をモットーに母親に料理を通して、食育の推進、親としての自己肯定感のアップを図っている。また、市内飲食店のオーナーに講師を依頼し、地域での子育て支援に理解を求めている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前向き子育てプログラム(トリプルP)を取り入れたグループワークやセミナーに参加されたお母さん・お父さん方からは、「子どもとの関わり方を学び、より良い親子関係が生まれることにより、子育てが楽しくなった」などの声が寄せられている。例えば、プログラムで講師が紹介した「離れたところからごはんだよと言うのではなくて、子どもに近づいて声をかけ、5秒待つ」は参加された多くの保護者が取り入れてみたいと話していた。 ・また、仲間づくりの場ともなっており、地域での子育て世代の孤立化を防止する役割を果たしている。 ・はっぴー子育て応援団の取組みに参加された養育者は「子育ては楽しいね」と思える子育てスキルを習得しており、その結果、児童虐待を防止するための一助となっている。 ・コロナ禍の中、ZOOMによりセミナー・グループワーク等を実施し、児童虐待を防止するための一助となっている。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (三浦市からの委託事業)